

平成 29 年度 第 26 回 数理分子生命理学セミナー

日時：平成 30 年 1 月 17 日 (水) 14:35～

場所：理学部 E211 講義室

講師：岩根 敦子先生（理化学研究所 生命システム研究センター
広島大学共同研究拠点 細胞場構造研究ユニット・ユニットリー
ダー）

演題：今まで見えなかった細胞超微細構造のラビリンスを探検できた
ら面白い

要旨：細胞や組織内の重要なイベントを可視化するために、近年、
様々な顕微鏡が開発されている。その中で電子顕微鏡観察は標的分子
並びに細胞小器官だけではなく、それを取り囲む環境を含めた超
微細構造を可視化出来る利点がある。細胞レベルの 3D 構造解析の
ために現在、クライオトモグラフィーを用いた無染色細胞のイメージン
グと FIB-SEM と再構築による 1 細胞丸ごとモデリングを行っております。
先端光学顕微鏡から得られた結果をふまえ、さらに、先端電子顕
微鏡と三次元再構築法を用いた細胞の立体構造解析から細胞分裂
過程を解明・確認するための新しい細胞場構造解析技術を用いて得
られた結果をご紹介します。

数理分子生命理学セミナー世話人 橋 真一 (内線 7387)

今回のセミナーは(5研究科)共同セミナーとして認定可能です